

カラスに関する問題でお困りのみなさまへ

長浜市 市民生活部 環境保全課 カラス対策マニュアル要約版 ゴミ対策編

カラスと聞くと良いイメージを持つ方は多くないでしょう。

長浜市でもゴミを荒らしたり、沢山集まって騒音や糞害を引き起こしたり、時には人間に襲いかかってくることも知られています。しかし、カラスも人間をいじめたくてそのような行動をしているわけではありません。

カラスが人間に嫌われる行動をする原因について知り、しっかりと対策を立てお互いが共生していける方法について考えてみましょう。

1. カラスの種類

ハシブトガラス

街路樹やビルなどの人工物が元々暮らしていた森林に似た構造をしていたため、市街地に定着しました。長浜の街中で見られるカラスの半分以上はこの種類です。ハシボソガラスよりも肉食性で、性格も強い傾向があります。



ハシボソガラス

田園地帯でよく見られます。市街地などでは、あまり見かけませんが、ハシブトガラスの群れと混ざっていることがあります。ゴミを荒らすことは少なく、普段は水田などで植物の種子や小動物などを食べて暮らしています。



2. カラスの生活

カラスは子育てをする春から夏の間（繁殖期）と、子育てをしない秋から冬の間（非繁殖期）で異なる生活をしています。

繁殖期は家族で行動し、自分たちの縄張りの中で暮らしています。一方、非繁殖期や、繁殖期であっても、子育てを行わないカラスは、昼間は自由に行動して、夜になるとねぐらに戻って集団で休みます。

カラスは非常に知能が高いことで有名で、鳥の中では身体に対して最も大きな脳を持っていることがわかっています。実際に植物の硬い実を車に轢かせたり、高い場所から落し割って食べるなど、時には我々が驚くような知恵をもつカラスもいます。

性格はとても凶暴だと思われがちですが、とても理知的で普段はおとなしく無用な争いほとんどしません。夫婦仲は極めて良く、一度夫婦になると片方が亡くなるまで生涯を共にします。



3. カラスにゴミを荒された時の対処法

I：ゴミは収集日に出しましょう

カラスは日の出とともに活動をはじめる早起きな鳥です。生ごみを前日の夜に出すのではなく、収集日の朝に出すことで、カラスがゴミを荒すことができる時間を大幅に短くすることができます。

II：カラスが直接ゴミ袋をさわれないようにしましょう

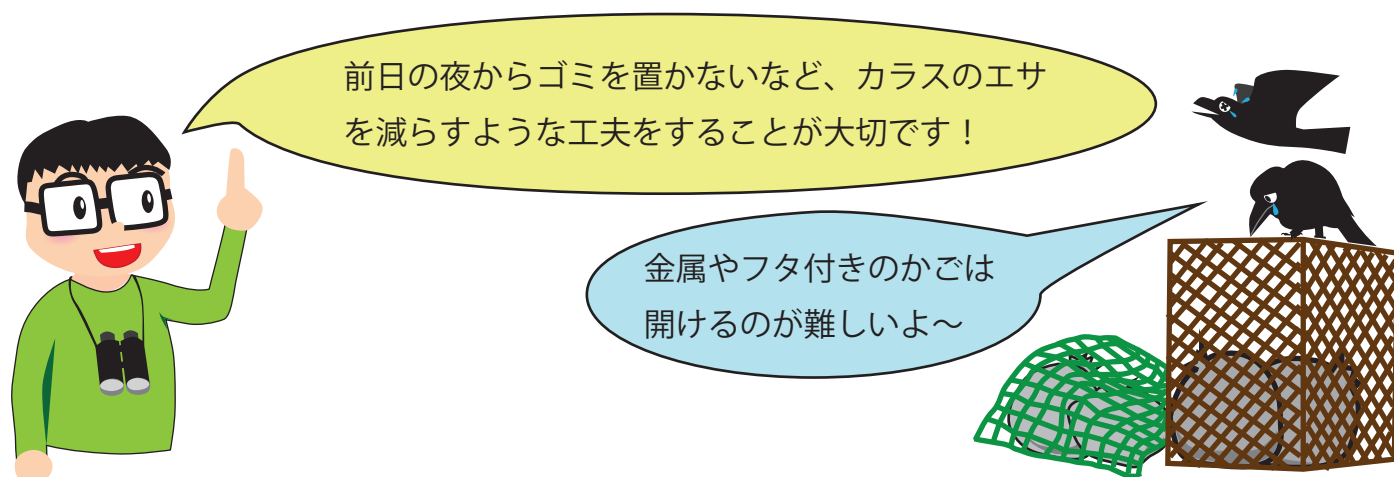
ゴミの集積所をフタ付きの容器にしたり、金属のカゴにすることでカラスから物理的に遮断することで対策できます。シートやネットをかけるタイプはカラスがめくってしまったら、タヌキなどが中に入って荒らしてしまう可能性があります。何もしないよりは効果があります。

III：カラスが嫌がるものを置きましょう

どうしても集積所にカラスとゴミを物理的に遮断する対策がとれない場合は、CDなどを吊るすことで嫌忌効果が得られます。ただし、この手法はカラスが学習すると効果がなくなるので、定期的に設置物を更新する必要があります。

IV：生ごみなどを周りから見えないようにしましょう

カラスはとっても目が良い生き物です。ゴミ袋に食べ物が入っているが見えると、複数のカラスが集まってきますので、なるべく周りから見えないようにしましょう。



その他ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください

長浜市役所 市民生活部 環境保全課 TEL: 0749-65-6513